

平成 28 年度大阪物療校友会学術部放射線部会一泊研修報告書

日時 : 平成 28 年 10 月 1 日 (土) ~ 10 月 2 日 (日)

場所 : 琵琶湖国定公園 近江白浜 政府登録旅館「白浜壮」

報告者 : 社会医療法人若弘会 若草第一病院 夏日 勇人

プログラム

- ・ スキャン方法の違いによる CT-AEC の変化
京都大学医学部附属病院 北澤 絹子 先生
- ・ 術前、術中シミュレーションにおける有効な 3D 作成について
産業医科大学附属病院 永元 啓介 先生
- ・ 当院での GALACTIC に基づいた業務改善について
兵庫県立医科大学附属病院 中村 憲治 先生
- ・ 施設間アンケート結果についての報告
大阪府立急性期・総合医療センター 宮原 哲也 先生
- ・ 今必要とされる。ノンテクニカルスキルとは
近畿大学医学部附属病院 西 環 先生
- ・ 胸部領域を知ろう④ シルエットサイン
姫路医療センター 喜田 真一郎 先生

報告事項

今回は本会会長が宮原会長に代わって初の 1 泊研修でした。1 日目の発表では CT やワークステーションの発表が続きました。2 題目は北九州市から来ていただいた、永元先生に発表をしていただきました。以前は近畿大学に在籍されておりましたが、九州に戻られてかもこの一泊研修旅行には毎度参加してくださいませ。内容は手術のシミュレーションに



利用される CT 3D 画像について発表をしていただきました。技師と医師間の考え方のズレを改善するために医師と技師間でディスカッションを行い、医師の必要とする画像を提供することがチーム医療で求められる技師の役割であると思いました。

2 日目は CT、ディスカッション、コミュニケーション、一般撮影の発表がありました。特に施設間アンケートを用いたディスカッションでは、大学病院、

公立病院、私立病院で使用している装置や当直体制などが異なるため、様々な討論が行えました。最終演題は喜田先生による胸部領域シリーズの4回目の発表がありました。前回までの復習を最初にしていただき、毎度恒例となるブロンコ体操があり、難しい肺区域を理解できるようになってきたと思います。



そして1日目の夜は一泊研修旅行毎年恒例となっている懇親会が行われました。新人技師からベテラン技師まで業務内容や人生に関するアドバイスなど様々な話題を肴に酒を酌み交わしながら楽しめました。大阪物療専門学校を卒業し、このような素晴らしい仲間恵まれ、幸運であると思いました。今回の参加人数は例年より少ない15名ほどでしたが、今後はもっと盛り上げていきたいと思っています。次回の勉強会も皆様参加お待ちしております。よろしくお願いいたします。

